

兵教組第二次 男女共同参画推進計画

誰もが自分らしく、個性や能力を発揮でき、
ともに未来をつくるための男女共同参画をめざして



現状：制度や環境は整いつつあるが、意識と参画に課題



組織・職場改革



会議時間の短縮や調査活動は順調に推移。
県教委・地教委への労働条件改善要求も継続的に実施。



組織体制



男女共同参画推進委員会の設置や、
活動計画へのジェンダー視点の導入はすすんでいる。

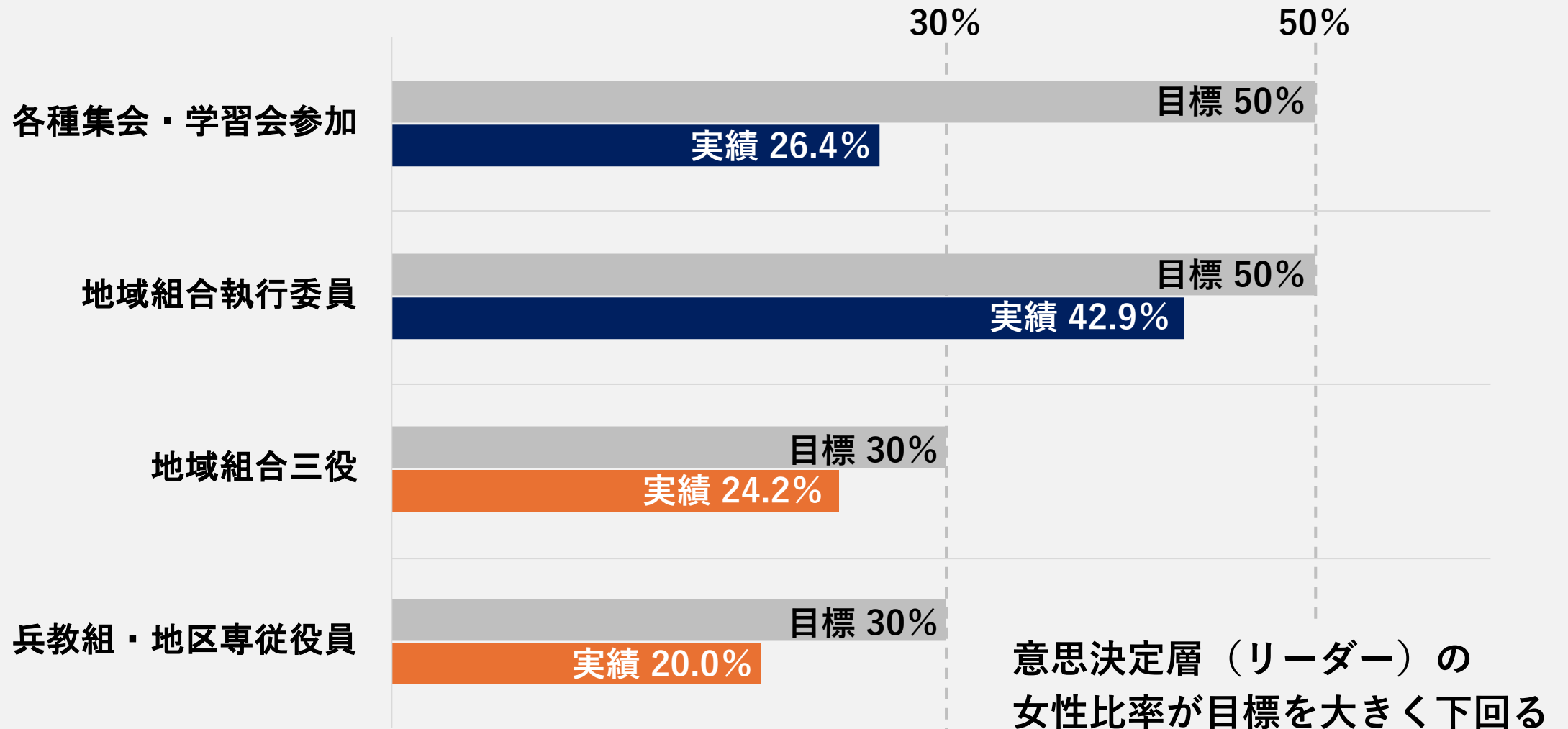


意識改革



組合員への浸透、男性の当事者意識、
そして女性自身のエンパワーメント（意識改革）に
大きな課題が残る。

女性参画率目標値と25年度実績との比較



課題の本質：組織改革から意識改革へ



これまでの成果

会議時間の短縮（22/29地域組合）
子どもスペースの設置
ルールの整備

環境は整いつつある



これからの課題

固定的性別役割分担意識の解消
男性の当事者意識（他人事からの脱却）
女性の意思決定機関への参画意識

意識改革が必要

重点の移行

働きやすい職場をつくるだけでなく、
組織の未来をつくる女性リーダーを育成する

基本理念とタイムライン

性別にかかわらず、すべての教職員が個性と能力を発揮できる組織へ。
教育現場の「多様性と公正性」を高め、子どもにとってよりよい学びの場を創造する。

2026年度
第二次開始



2030年度
中間評価



2035年度
目標達成



10年間の長期ビジョンを見すえつつ、5年後の中間評価で確実に軌道修正をおこなう。

実現のための4つの重要課題



意識改革と学習機会の
提供・充実



組合による仕事と
生活の両立推進



意思決定機関への
女性参画の促進



数値目標の設定と
進捗管理

意識改革と学習機会の提供・充実

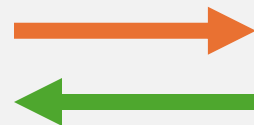
現状の課題

- ・個人の理解度に差があり、固定的性別役割分業意識が根強く残っている。

具体的アクション

- ・【オンライン学習会】すべての組合員が参加可能なハイブリッド開催
- ・【ミニ学習会】地域組合単位での小規模ワークショップの実施
- ・【情報発信】機関紙やSNSでの「ジェンダーコラム」の連載
- ・【事例共有】学校現場での好事例を集めた「事例集」の作成

兵教組



地域組合



学校園現場

組合による仕事と生活の両立推進

支援インフラ



託児支援

託児スペースの設置、または「子ども同伴会議」の文化を定着させる



柔軟性

長時間労働を是正し、組合活動が負担にならない運営を徹底する

原則平日19時前終了ルール



会議・研修は、原則「平日19時」までに終了
育児・介護時間との両立を優先する

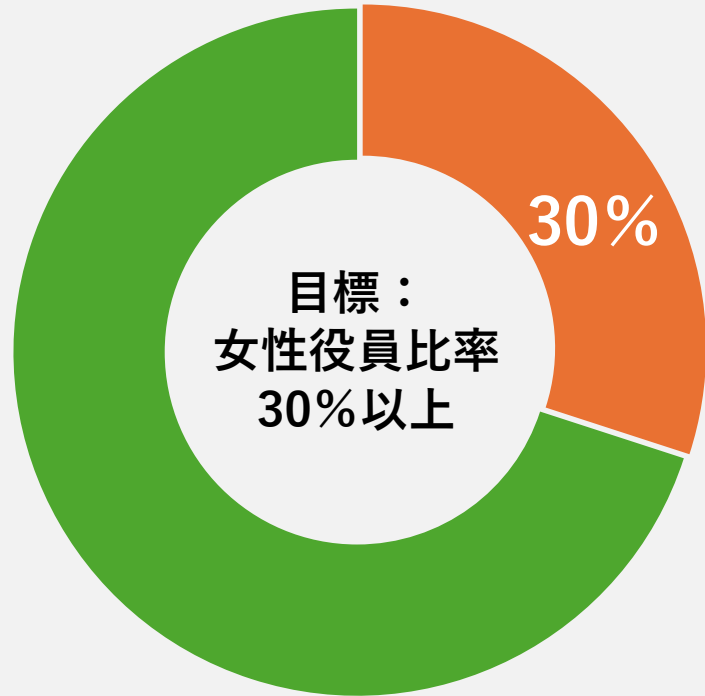
書記局業務のさらなる分担



地区専従役員・地域組合二役に偏らない
業務分担の好事例周知と実施

組合活動のあり方自体が、学校の「働き方改革」のモデルとなるように

意思決定機関への女性参画の促進



目標：女性役員比率30%以上
(兵教組・地区専従役員、地域組合四役)

達成のためのアクション

1. リーダー育成

若手女性教職員を対象とした「リーダーシップ育成セミナー」の開催
多様なロールモデルの提示

2. 制度の見直し

代議員や委員の選出方法を見直し、女性が参画しやすいしくみを検討

3. 環境整備

委員を引き受けやすいサポート体制の構築

数値目標の設定と進捗管理



Action

地域組合からのフィードバック
中間評価での起動修正

Check

年3回の委員会の開催
進捗確認と課題共有

2030年度(中間評価)にむけた女性参画率目標

各種集会・学習会参加

50%

地域組合執行委員

50%

日教組大会代議員

50%

地域組合四役

30%

兵教組・地区専従役員

30%

兵教組大会代議員

30%

ともに働き、ともに育ち、ともにすすむ

ジェンダー平等は、教育の「公正」を守るための基盤です。
一人ひとりの声を大切にし、信頼される強い兵教組を
全員で築き上げていきましょう。

誰もが参画し、活躍できる組織へ。

